

## [概要]

市民表彰は、大阪市表彰規則に基づき、昭和41年にその基準を定め、毎年1回実施している。

表彰は、公益の増進、産業の振興、学術、文化の向上などに貢献し、顕著な功績のあった方、又は市民の模範となるすぐれた善行のあった方を広く市民に顕彰することを目的としている。

## [表彰を受けられる主な方々]

### ○文化功労部門

#### ・内田 九州男さん

多年にわたり、近世大坂の都市社会史の研究に努め、豊臣期から17世紀にかけての都市大坂の形成期における、大坂研究の基盤構築に欠かすことのできない研究論文を数多く残すなど、大阪の学術文化の振興と発展に貢献した。

#### ・大津 嶺子さん

多年にわたり、松竹新喜劇の舞台で華のあるヒロインを数多く務め、現在も舞台俳優として活躍し、幅広い役柄を通じて上方の味わいを伝えるなど、大阪の芸術文化の振興と発展に貢献した。

#### ・オール阪神・巨人

オール阪神さん、オール巨人さん

多年にわたり、正統派のしゃべくり漫才師として、コンビで舞台やテレビ・ラジオを中心に活躍し、上方のお笑い文化を牽引するとともに、数々の賞を受賞するなど、大阪の大衆芸能の振興と発展に貢献した。

#### ・黒川 博行さん

多年にわたり、小説家として活躍し、精緻に描写された大阪市内や周辺の街を舞台とした警察小説やハードボイルド小説を数多く創作するなど、大阪の芸術文化の振興と発展に貢献した。

#### ・後藤 静夫さん

多年にわたり、人形浄瑠璃文楽公演の企画・制作担当者として活躍し、その後も大学において文楽の実態を調査・研究するとともに、文楽に関連した著述を多く残すなど、大阪の芸術文化の振興と発展に貢献した。

・志野 和男さん

多年にわたり、ペーパースクリーンと呼ばれるユニークな版画技法を用いて数々の作品を発表し、大阪市内を中心に毎年個展を開催するなど、大阪の芸術文化の振興と発展に貢献した。

・竹本 千歳太夫さん

多年にわたり、人形浄瑠璃文楽の太夫として活躍し、令和4年には太夫の最高位である「切語り」に昇格したほか、芸術選奨文部科学大臣賞など数々の賞を受賞し、大阪の伝統芸能の振興と発展に貢献した。

・野澤 錦糸さん

多年にわたり、人形浄瑠璃文楽の三味線奏者として活躍し、研修生出身者として初めて野澤錦糸の名跡を継ぐとともに、一般の方にも義太夫節を教え、その普及に努めるなど、大阪の伝統芸能の振興と発展に貢献した。

・福本 年雄さん

多年にわたり、大阪心斎橋で劇場運営を続け、大阪の若手劇団のための演劇祭「ウイングカップ」を企画するとともに、舞台づくりの優れた裏方としてニッセイ・バックステージ賞を受賞するなど、大阪の芸術文化の振興と発展に貢献した。

をはじめ計66組67名を表彰する。